



発表は次のとおり実施願います。

テレビ ラジオ インターネット	6月23日(金) 17時以降
新聞	6月24日(土) 朝刊

資料提供(教育庁)

令和5年6月19日

国指定重要文化財(建造物)の指定及び追加指定について

国の文化審議会(会長 佐藤 信)は、令和5年6月23日(金)に、新たに1件の建造物を国宝に、8件の文化財を国指定重要文化財に、あわせて3件の建造物を国指定重要文化財に追加指定(件数は変更なし)するように文部科学大臣に答申を行う予定です。

このうち本県関係は、下記のとおりですので、お知らせいたします。

これにより、官報告示を経て本県における重要文化財(建造物)は33件となります。

記

1 国指定重要文化財(建造物)に答申予定の本県物件

(指定)

名称	員数	所在地	所有者	指定基準
旧矢中家住宅 本館 別館 土地	2棟	茨城県つくば市 北条字古城94番地 1号外	個人	意匠的に優秀なもの 学術的価値の高いもの

(次の文化財を追加し、改めて指定)

※ 追加される文化財: 書院 1棟、文庫蔵 1棟

名称	員数	所在地	所有者	指定基準
旧坂野家住宅 (茨城県常総市大生郷町) 主屋 書院 文庫蔵 表門	4棟	茨城県常総市 大生郷町2037番地	常総市	意匠的に優秀なもの 流派的又は地方的特色 において顕著なもの

2 国指定重要文化財（建造物）の件数

- ・全国 指定件数： 2, 565件 うち今回申請件数： 8件（追加指定 3件）
- ・本県 指定件数： 33件 うち今回申請件数： 1件（追加指定 1件）

※重要文化財の数は、国宝の数を含む。

3 特徴

（1）旧矢中家住宅

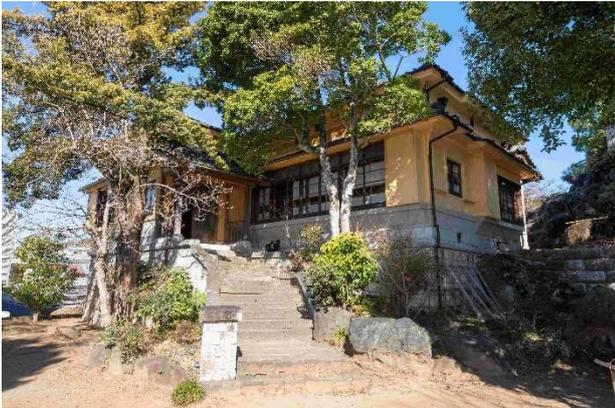
筑波山の南麓、つくば市北条に位置する建材研究者で実業家・矢中龍次郎^{やなかりゅうじろう}の住宅。昭和17年建築の本館は木造ながら陸屋根とし、矢中発明の防水剤を使用するほか、大壁にも同人採掘にかかる顔料^{がんりょう}を用いる。また、昭和24年建築の別館ともども、各所に開けた換気口や、工夫を凝らした建具で通風に細心の注意を払うなど、日本の気候風土に配慮した実験的な住宅として、学術的な意義を持つ。一方、南部春邦^{なんぶしゅんぽう}の手による杉戸絵や襖絵、水墨画などを随所に配し、銘木をはじめ吟味した材料を使用するなど、意匠的にも優れている。高低差のある地形を生かした敷地及び敷地を画する石塀や擁壁などとあわせて保存する。

（2）旧坂野家住宅

旧坂野家住宅は、茨城県の南西部にある常総市の大生郷町に位置する。坂野家は中世以来この地に住んだ土豪^{どごう}で、近世には代々大生郷村の名主^{なぬし}を務めた。広大な敷地に建物を点在させる。主屋は18世紀はじめの建築で、太い柱や梁で構成された構造は豪壮で、表門及び塀とともに、豪農の屋敷構えを伝えているとして重要文化財に指定されている。書院は、大正9年の建築。大生郷地域における文人墨客の活動拠点となった施設で、材料、意匠ともに秀でた上質な近代和風の座敷棟として評価される。既指定の主屋等に追加し、文庫蔵とあわせて保存する。

4 写真

旧矢中家住宅



本館正面（南東面）外観



別館一階食堂

提供：つくば市教育委員会

旧坂野家住宅



書院南面全景



書院及び文庫蔵北側全景

提供：常総市教育委員会

【本資料の詳細についての問い合わせ先】

○旧矢中家住宅

教育庁総務企画部文化課有形・無形文化財担当
つくば市教育局文化財課

田村 電話 029-301-5449
石橋 電話 029-883-1281

○旧坂野家住宅

教育庁総務企画部文化課有形・無形文化財担当
常総市教育委員会生涯学習課

田村 電話 029-301-5449
田中 電話 0297-30-8880